

ブラジルの金融市場動向 Weekly Report

2018年6月25日

【2018年6月16日～2018年6月22日までの推移】

【1】先週の回顧

先週のブラジル・レアルは、対円、対米ドルともに下落しました。また、2年国債金利は低下しました。米国と中国の間で貿易摩擦の激化が懸念され、市場のリスク回避姿勢が高まったことなどがこうした動きの背景となりました。

経済指標では21日（現地、以下同様）にインフレ率（IPCA-15）が発表され、市場が予想していた以上にインフレが加速していたことがわかりました。

同日にはブラジルの政策金利が発表され、市場の大方の予想通り政策金利の据え置きが決定されました。5月下旬に発生したトラック運転手らによるストライキがインフレの上昇圧力になることが懸念されていますが、基調としてはインフレ率が依然低位で推移しており、今回は政策が維持されました。今後の物価や経済の状況を見極めるとともに、今後の利上げ余地を残したものとみられています。

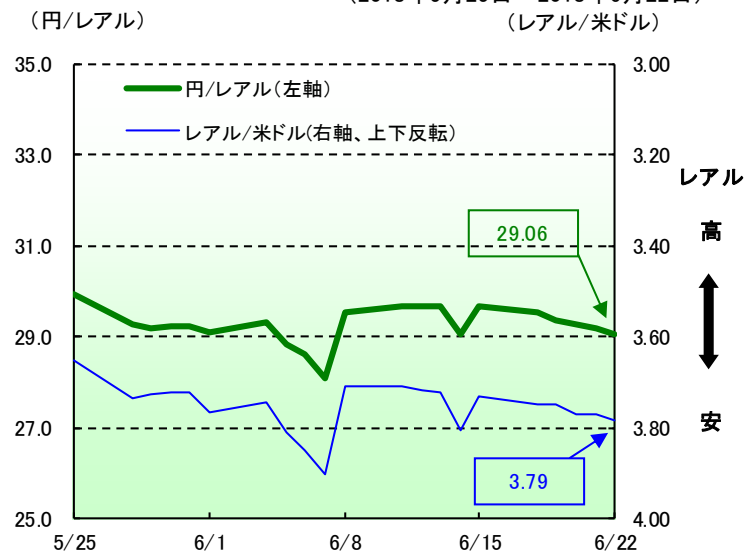
【2】今週の見通し

今週は、26日に今回のCOPOM（金融政策委員会）の議事録が、28日にブラジル中央銀行の四半期インフレレポートがそれぞれ公表される予定です。今回のCOPOMで政策金利が維持された背景やブラジル中央銀行のスタンスなどに関して、より多くの情報が得られる可能性があります。また、26日にはCMN（国家通貨審議会）が2021年のインフレターゲットについて話し合うものとみられます。

経済指標では、各種インフレ率のほか、失業率、マーケットによる製造業PMI（購買担当者指数）などが公表される予定です。

【ブラジル・レアル 為替推移】

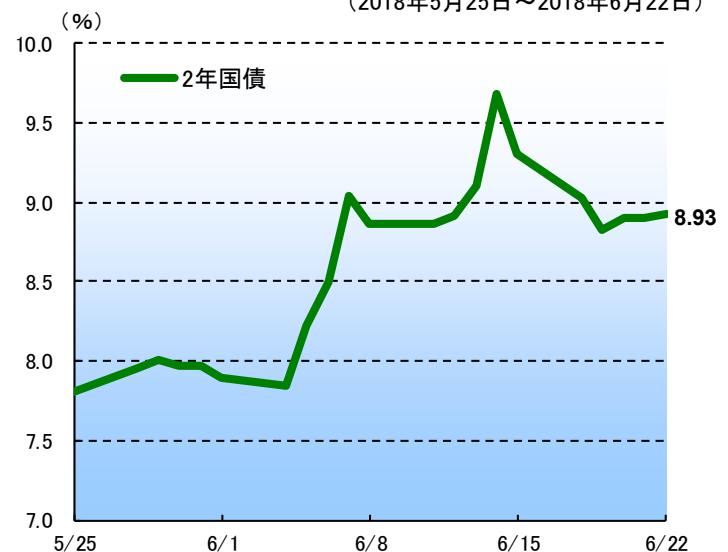
(2018年5月25日～2018年6月22日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

【ブラジル 金利推移】

(2018年5月25日～2018年6月22日)



(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

当資料のお取り扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。
- 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。
- 当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。
- 当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>